

十九
二一
の経利
払過
込利
み子率
十九
行
行
価
格日
発
振額最
替低込
額單面
位金額
八七六五
發
行
方
法
用振の法
等替條
項及の
のび根
適そ拠
發
行
方法
行
方
法
號名
律行
及の
及び根
そ拠記
三二一
条成省
平件十令國財
成等六第債務
十を年三省告
六次月三十發告
年の月号行示
四と二月二等第
月おり十月に關
九日告日二百十
日示に第号
す發三省
る行項令
。しのへ
た規昭
利定和
付に五
国基十
債づ七
のき年
發、大
行平藏

に日年十額平す額の振
加本一二面成るの記替
え郵・銭金十。整載法
、政三額六数又の
次公パ百年倍は規
の社一円三の記定
算總セに月金録に
式裁ントつ二額はよ
にはトき十に、る
よ、九ニよ最振
り払十日る低替
算込九も額口
出金円の面座
し額九と金簿
五三額金項律日機用、成社条二財十利
万千面に第第本関を振十債第十政八付
円百金よ四九郵は受替三等一六融回國
五額る号十政日け法年の項年資庫
億で引に七公本る、法振法資債券
五三受規号社銀もと律替律金
千千け定、法行のい第に第特
百百す第へととう七關百別
三八る二平すし、十す一會
十億郵十成る、の五る号計
便四十。そ規号法、法
貯条四の定、律第
金第年振の以、
資三法替適下平
一和五

日たに払い込むものとする。規定期

$$\text{額面金額の総額} \times \frac{1.3}{100} \times \frac{2}{365}$$

十三 初期利子

す次そが金と平
る号の銀額し成、十六年九月二
期及翌行を、日び営休支次に第業業
つ十日日う算に五にに式。二十
い五にに式。二十
て号支當たに同
に払ただよ日
じおうるしり日
いへと、算を
て以き支出支
規下は払し払
定、期た期

$$\text{額面金額} \times \frac{1.3}{100} \times \frac{1}{2}$$

十四

十八 一七六五

払 払 元 償 償 後 第
込 場 利 還 還 の 二
期 所 金 金 期 利 期
日 支 額 限 子 以

平 日額平利てを毎
成 本面成子、支年
銀 金二をそ払三
行 額十支の期月
百 六 払日と二
円 年う以し十
三 に三。前、日
月 つ月 六各及
二 き二 月支び
百 月支九
円 日 間 払九
に に期月
属 に二
す すお十
る い日